

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 10月 4日

事業所名 児童発達支援 あえる浜北

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	・利用人数に応じて、部屋の活用・机・椅子等の配置など配慮している。 ・土、祝日、サーキットをする部屋が狭い。	支援の方法や提供の仕方で工夫していきたいと考えます。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	・職員数が不足、利用を断ってしまっている時がある。正社員のスタッフが欲しい。 ・毎日、子供の人数に対して必要な職員数が配置されるようシフトが組まれている。 ・利用者数に応じた配置ができていない。 ・職員数により、利用者の対応ができないうちがあり、少ない。 ・職員の数が多くの方が手厚い支援ができると思います。	支援の質の向上ができるよう、配置基準の2名に加え、1名以上職員を多く配置しています。平日は、2クラスあり、未満児のクラスは、完全マンツーマンでの支援提供をしていることが、事業所の強みでもあります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・ロッカーや椅子、立ち位置など、個々のマークや足マークなどを利用して視覚的に分かりやすいよう工夫している。 ・子どもが見通しを持って生活できる配慮があると思います。	活動に合わせて、配置を変えたり、少人数での活動にしたりと環境を整えています。 見通しが持てるよう、時間の構造化、視覚支援を取り入れています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・毎日の清掃、使用後の確認を行っている。活動内容によって、パーテーションを利用し、空間を区切る等工夫している。	清掃チェック表を活用しています。また、日々の清掃では次亜塩素酸で消毒を行っております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		特に外部評価はありませんが、内部評価により業務改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	・研修する時間がない ・2ヶ月に一度でいいので、全スタッフで研修をしたい。(利用者情報共有、災害、虐待マニュアル、支援内容についてのミーティング)	内部研修を定期的に行うことができるよう、計画を立てます。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6				
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6				
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6				

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスごとに立案をチームで行える時間がない ・限られた人での立案となっている。 	現在、社員スタッフが中心で行っています。他のスタッフも立案ができるようスキルの向上と環境を整えていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・リズム体操1ヶ月ごと。運動・生活1週間ごと。集団遊び・アクティブ毎日活動内容を変えて行っている。 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとの役割分担表が掲示されており、個々に合わせ、必要に応じて書面での伝達を行っている。 	ミーティング議事録、日々のあそびを情報共有の基とし、その上で朝礼に参加できるスタッフはその場で、本日の支援内容と分担を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングに参加できない職員は、話し合いの内容がミーティング議事録に記載されているのでそれで確認し、共有できるようになっている。 ・毎日振り返りの時間を設け、内容を書面にて記録、職員間で情報共有できるようにしている。 	毎日、取り組んでいます。今後も継続して行います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日子供のあそびを記録にとり、その内容について職員間で話し合っている。 ・個々の日々のあそびを記録し、振り返りの中で支援方法等の話し合いをしている。 	毎日、取り組んでいます。今後も継続して行います。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回モニタリングを行っている。 ・モニタリング、保護者との面談を行い、支援計画に反映させている。 		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・会議が行われているかわからない	児発管だけでなく、おさまの所属しているクラスのメインのスタッフも参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			・園、事業所間で見学や支援についての情報共有が適宜行われている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1			児発管が、定期的に研修に参加しています。スタッフにも可能な限り研修への参加や他事業所の訪問ができるよう、体制を整えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6			現在交流は行うことができていません。今後は、交流の機会を計画していきたいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3			今年度、参加できていません。今後、そのような機会が持てるよう計画していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・帰所時、その日の子どもの様子を保護者に伝えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		6			コロナの影響もあり、現在保護者を集めて行うことはできていません。保護者対応時に、助言等を行っております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		・コロナにより開催できていない	今後、状況に応じて、開催を計画していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		・人員不足のため、迅速に対応できていないときがある	適切な対応ができるよう他機関との連携を図るとともに、事業所内でもできる限り、迅速に対応できるよう努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・あえる日より、活動概要や行事予定の発信をしている。 ・毎月あえる日より発行。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6			今回、地域の方を呼んでの夏祭りを計画しましたが、コロナ禍であったため、取りやめになりました。今後、地域の方にもご案内できるような企画を考えていきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		各マニュアルを策定し、今後、手に取って見ていただけるよう改善してまいります。また、訓練を計画実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	・研修する時間がない ・全職員では行えていない	オリエンテーション時に行っております。今後、研修の時間を確保し、行うことができるよう計画を立てていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。